

Fukuoka City Hospital  
**F C H**

Vol. **42**

2022  
Summer



- 整形外科
- 肝胆膵センター
- 福岡東部オープンカンファレンス開催  
のお知らせ（循環器の新しい検査と治療について）
- 感染対策情報発信センター



地域医療支援病院  
地方独立行政法人福岡市立病院機構

**福岡市民病院**

福岡市博多区吉塚本町 13-1  
TEL 092-632-1111 FAX 092-632-0900  
<http://www.fcho.jp/shiminhp/>

近年、ロコモティブシンドロームに対する啓発活動が盛んに行われています。その代表的な原因疾患が腰部脊柱管狭窄症、下肢の変形性関節症、骨粗鬆症です。当科では、リハビリテーション部をはじめとした院内全ての部門と協働して、これら全ての運動器疾患に対応可能な専門的チーム医療を展開しています。

## 1) 脊椎疾患

まず徹底的な病歴の聴取と理学的所見の診察を行い、その上で必要と考えられる検査を実施します。X線、MRI、CTなどの画像検査は多くの情報を提供してくれますが、脊椎疾患においては特に、その中から有意な所見を抽出し正確な診断につなげることが重要です。

治療は脊髄症状や麻痺が高度な患者さんを除いては、あくまでも保存的治療を原則としますが、それでも令和3年度277例の脊椎手術を施行しました。うち209例（75%）が腰椎、57例（27%）が頸椎、11例が胸椎（8%）でした。術後はリハビリテーションの後、3週間で自宅退院または転院としています。

## 2) 関節疾患

当科では主に下肢の大関節である股関節、膝関節に関して専門的な診療を行っています。保存的治療としては薬物療法と併せて、筋力訓練やダイエットの指導、

関節腔内への注射などを行います。

病院の性格上、外来患者さんに対する理学療法・物理療法は行えないため、そのような治療が必要な場合には近隣の開業医の先生方をお願いしています。

手術的治療の適応と判断された場合には病態に応じて、関節鏡視下手術、骨切り術、人工関節置換術などの方法が選択されます。手術に際しては、他の手術同様、術後感染症や深部静脈血栓症の予防に細心の注意を払い、こちらでも通常であれば術後3週間での退院が可能となります。

## 3) 外傷

救急病院、地域医療支援病院として外傷の患者さんも積極的な受け入れを行っています。中でも大きな割合を占めているのが骨粗鬆症を基盤とした脆弱性骨折です。骨粗鬆症関連骨折を合わせると全骨折手術症例の7割近くにのぼっています。



### ●Profile

診療統括部長

齊藤 太一

医学博士

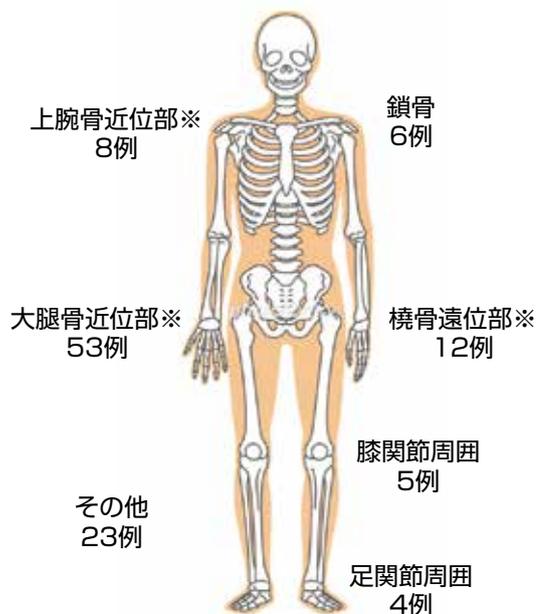
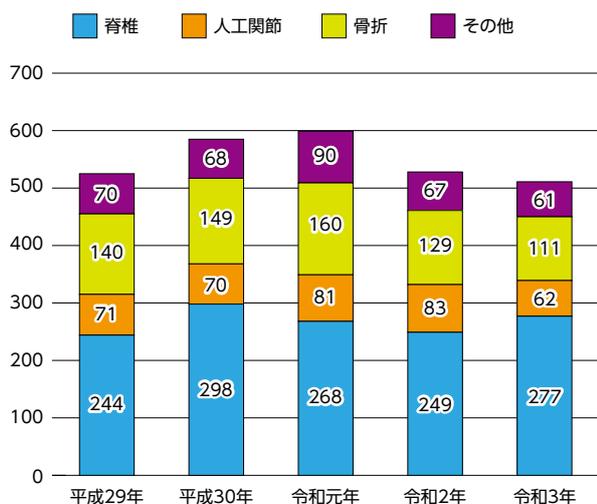
日本整形外科学会専門医

日本整形外科学会認定脊椎脊髄病医

日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医

当院は第2種感染症指定医療機関・新型コロナウイルス感染症重点医療機関として令和2年度に続き令和3年度もまさにウィズコロナの体制で運営してきました。整形外科においてもその影響は少なからず、この2年間の手術実績は図1のごとく右肩下がりとなりました。かかる有事がいつまで続くのか、まだまだ見通しが立たない状況ですが、いかなる環境下においても患者さんから信頼される整形外科であり続けられるよう、今後も限られたハードの中で安全・安心な医療提供を実践してまいります。

図1 整形外科年度別手術症例数



令和3年度 骨折手術の内訳  
(※は骨粗鬆症関連骨折)



今年度のスタッフです。力を合わせて頑張っています！  
(上段左より) 中原 寛之、矢部 恵土、青野 誠  
(下段左より) 田中 哲也、入江 努、齊藤 太一、糸川 高史

肝臓内科は、1989年に福岡市立第一病院が福岡市民病院として現在の博多区吉塚本町へ移転と時を同じくして肝腎センターが設立され、西日本特に九州地方で多かったB型、C型肝炎や肝がんの治療を行ったことが始まりです。

2011年4月より、臓器別に専門性を高めて診療を行う目的で内科、外科など他科との垣根を取り払い、肝胆膵センターを発足させ診療を行っています。センター発足後内科、外科共同で密に連携を取り、また放射線科を加え毎週合同カンファランスを行っており、チーム医療を行っています。

肝臓内科（肝胆膵センター（内科））は常勤4名で日本消化器病学会専門医3名（指導医1名）、日本肝臓学会専門医3名（指導医1名）を擁し日本消化器病学会および日本肝臓学会の認定施設として肝臓、胆道、膵臓疾患の専門的な診断と治療を行っています。今年度のスタッフは以下の通りです。

**小柳 年正**（日本消化器病学会専門医・指導医、日本肝臓学会専門医・指導医）

**樋口野日斗**（日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医）

**中村 吏**（日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医）

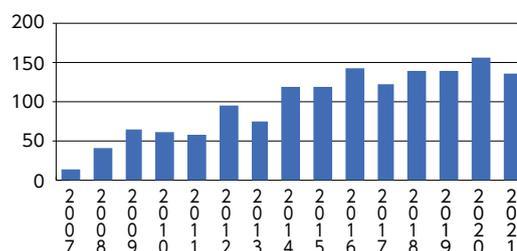
**坂口 恵亮**（内科専攻医）

肝がん治療には特に力を入れてきた領域であり、1989年以来既に1500例以上の治療経験を持っています。ラジオ波焼灼療法、マイクロ波凝固壊死療法、エタノール注入療法などの局所療法をはじめ、肝動脈化学塞栓術、リザーバー肝動注化学療法、分子標的薬などの治療法を単独または複数組み合わせ、更に外科による腹腔鏡下肝切除術と内科的治療を組み合わせた集学的治療を行っています。

近年は肝臓疾患とともに胆膵疾患に対する診療も力を入れており2007年は年間20件以下であった内視鏡的逆行性胆管膵管造影（ERCP）件数も、緊急ERCPが対応できるように体制を整備し、2018年以降は140件以上と件数を伸ばしています。

そのほか肝機能障害の原因診断・加療、肝硬変を含むB型肝炎、C型肝炎に対する抗ウイルス療法、難治性腹水に対し腹水濾過濃縮再静注法（CART）や肝性脳症などの肝不全治療、食道・胃静脈瘤治療（食道静脈瘤結紮術（EVL）、食道静脈瘤硬化療法（EIS）、バルーン閉塞下逆行性静脈瘤塞栓術（B-RTO））、胆石・胆嚢炎や膵炎治療、閉塞性黄疸の診断と治療として前述のERCPとともに内視鏡的乳頭筋切開術（EST）、内視鏡的乳頭バルーン拡張術（EPBD）や経皮的胆管ドレナージ（PTCD）などの手技、処置を行っており、担当医はこれらの治療手技に精通して患者さんに総合的な肝臓・胆道・膵臓疾患治療を提供できるよう日々研鑽しておりますのでどうぞよろしくお願いたします。

ERCP施行数



## ●Profile

診療統括部長

肝臓内科科長

肝胆膵センター長

**小柳 年正**

日本内科学会指導医・総合内科専門医、日本消化器病学会指導医・専門医、日本肝臓学会指導医・専門医、日本消化器学会九州支部評議員、日本肝臓学会西部会評議員、世界遺産検定1級



近年傷が小さくて侵襲の少ない腹腔鏡下手術が様々な臓器で行われています。当院でも2012年より腹腔鏡下肝部分切除を導入しており、2020年には肝臓外科スタッフ変更を機に肝葉切除等の高難度腹腔鏡下肝切除に対する施設基準も取得し、以降大半の症例に腹腔鏡下手術を実施しています。2021年度は全肝切除症例の95%が腹腔鏡下手術でした（図1）。

体への負担が少ない腹腔鏡下手術が増加することで、これまで手術を諦めていた超高齢者でも手術を受けることが可能になってきました。2020年4月から現在までに当科で肝切除術を受けた103名の患者さんのうち、26名（25%）は80歳以上の超高齢者の患者さんでした。もちろん普段外出ができる程度の基礎体力は必要です。手術を受けることができて社会復帰できなければ低侵襲手術の意味はありません。手術後に回復できているかどうかを評価する指標のひとつに在院日数があります。術後合併症が少なければ在院日数は短くなります。また、術後の食事摂取や歩行能力など、消化管・身体機能の回復が早いことも在院日数を短くするためには必要です。私達は低侵襲手術の推進、合併症低減の工夫、術後の臓器機能回復を促進するための工夫などに積極的に取り組み、学会・論文等に報告しています。表1は2021年度の当科におけるDPC疾患群別の入院期間Ⅱ以内の患者さんの割合を示しています。DPC入院期間Ⅱは、その疾患群における全国平均在院日数を示しており、当科では大半の患者さんが全国平均値よりも短い日数で退院できていることがわかりました。

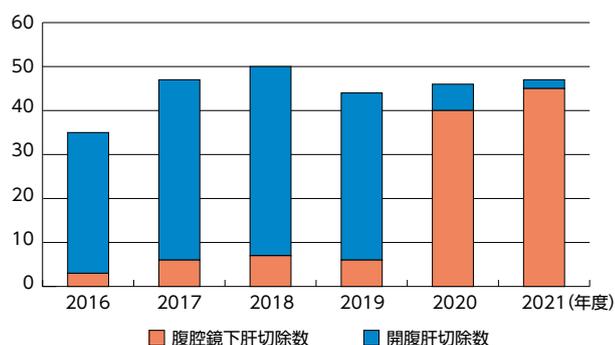


図1. 年度別開腹/腹腔鏡下肝切除術症例数の推移

DPC疾患群	患者数	入院期間Ⅱ以内
胆嚢結石・胆嚢炎等	78	71 (91.0%)
肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性も含む)	52	47 (90.4%)
膵臓・脾臓の腫瘍	25	21 (84.0%)
胆嚢・肝外胆管の悪性腫瘍	19	11 (57.9%)
その他	46	38 (82.6%)
合計	220	188 (85.5%)

表1. 当科におけるDPC疾患群別全国平均在院日数（入院期間Ⅱ）退院患者割合（2021年度退院患者実績）

肝胆膵領域は難治性の疾患が多く、治療成績を向上させるためには集学的治療戦略の構築や難度の高い手術を安全に実施するための手術手技の改良、周術期管理の工夫など、まだまだ改善すべき課題はたくさんあります。また成績の向上のみならず、患者さんが必要最小限の負担で早く治療前の生活レベルに復帰してもらうための取り組みも重要と考えております。かかりつけの先生方としっかり連携し、患者さんに満足していただける医療を提供できるよう努めてまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

## ●Profile

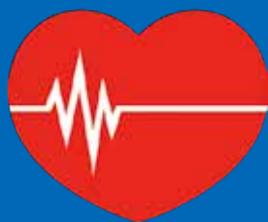
肝臓外科科長

二宮 瑞樹

日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本肝臓学会指導医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本がん治療認定機構がん治療認定医、日本移植学会移植認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵学会評議員・高度技能専門医



# 第50回福岡東部オープンカンファレンス



## 循環器の新しい検査と治療について

～“The lower, the better”は LDL-C だけじゃない!～

【日 時】 2022年9月5日 (月) 18:30～20:00

【申込先】 <https://shiminhp.fcho.jp/event/oc>

座長：診療統括部長 ハートセンター長 弘永 潔

日本医師会生涯教育講座 1.0単位  
(カリキュラムコード:42 胸痛、43 動悸)



(開催方式) Cisco Webex Webinars  
事前登録制。登録後の承認メールに登録IDが記載されていますので、参加時にその登録ID番号を入力して参加となります。



### 不整脈の検査と治療

1 貼付型1週間ホルター心電図検査導入による、不整脈検出率上昇効果の検討

渡邊 高德 医師

2 不整脈アブレーションについて  
小河 清寛 医師

### 狭心症の検査と治療

3 最新のCTのご紹介  
大坪 秀樹 科長



4 ミニコン【少量造影剤 (minimum contrast media) でのPCI】当院のデータ (過去5年間)

松浦 託 医師

【問い合わせ先】



〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番1号  
地方独立行政法人 福岡市立病院機構 福岡市民病院 地域医療連携室  
Tel 092-632-3430 Fax 092-632-3431  
E-mail renkei@fcho.jp  
【主催】福岡市民病院・福岡市医師会 【共催】博多区・東区・粕屋医師会



# 感染対策情報発信センター

ICIC : Infection Control Information Center

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)がパンデミックとなって、2年以上が経過しました。当院は第二種感染症指定医療機関として、感染流行の初期からこのCOVID-19への対応に病院一丸となって取り組んできました。そして得られた多くの経験、知見、対策のノウハウが、当院には蓄積されています。その情報を、地域の医療機関・医療施設へ提供し、地域医療における感染対策に組織的かつ効果的に貢献するため、当センター(ICIC)を設置いたしました。

地域の医療機関、介護・福祉施設、教育機関等を対象とした感染対策に係る研修会等の開催や助言、合同カンファレンス、新興感染症対応訓練の実施、WEBや紙媒体による感染対策情報の発信等を行っていく予定です。発信する情報には、新規の感染情報や感染対策のみならず、検査や薬剤に関する情報も提供していきたいと考えています。

ICICは、地域における感染対策に少しでも貢献できるよう活動していく所存ですので、何卒よろしく願いいたします。

センター長(副院長) 東 秀史

2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の流行は、変異株の出現などもあり、この先の動向は未だ不透明です。そのような先の見えない状況が続いている中でもCOVID-19以外の感染症は世界中で次々と発生しており、また新たなパンデミックがいつか起きることは必至です。

そういった種々の感染症に対し、適切な感染症対策を講じるためにも、正しい情報を得て、日頃から備えておくことが大切になってきます。地域の皆さまと情報を共有し、連携を取り、共に感染症への迅速かつ最適な対策を行っていくことができるよう、このたび当センター(ICIC)をスタートいたしました。

ICICの活動が皆さまの感染症対策の一助となるべく努めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

副センター長(感染症内科) 原田 由紀子



当院ホームページで、様々な情報を更新していく予定ですので、ぜひチェックしてみてください!  
<https://shiminhp.fcho.jp/>



# 福岡市民病院 外来担当医一覧表 (受付時間: 平日 午前8時30分~午前11時)

◎:新患 ●:再来

診療科	専門分野	医師名	月	火	水	木	金
消化器外科	消化器外科, 一般外科	東 秀史 西田 康二郎 西村 肇	○	○	○	○	○
消化器内科	消化器一般, 病態栄養 消化管一般 消化管一般 消化管一般	高橋 俊介 松口 崇史 今村 壮志 長田 美佳子 後藤 綾子	○	○	○	○	○
肝臓外科	肝・胆・膵外科, 胆石外来 肝・胆・膵 肝・胆・膵 肝・胆・膵 肝・胆・膵	三宮 瑞樹 武石 一樹 小柳 年正 樋口 野日斗 中村 史 坂口 恵亮	○	○	○	○	○
血管外科	血管外科, 腎不全外科 血管外科	江口 大彦 川久保 英介	○	○	○	○	○
腎臓内科	腎臓内科一般, 血液浄化 腎臓内科一般, 血液浄化 腎臓内科一般, 血液浄化	池田 裕史 吉田 祐子 南 優希	○	○	○	○	○
糖尿病内科	糖尿病 糖尿病	坂井 義之 伊藤 寛治	●	◎	●	●	◎
感染症内科	感染症 感染症 感染症	原田 由紀子 三南 順也 藤吉 直子	要予約		要予約		交代制
放射線科	画像診断一般, IVR 画像診断一般 画像診断一般 画像診断一般	清澤 恵理子 村山 佑里子 浅田 大地 古賀 夕貴子					エコー (超音波) ※交代制
診療科	専門分野	医師名	月	火	水	木	金
内科	循環器内科 循環器一般, 虚血性心臓病, 心不全 循環器一般 循環器一般, 不整脈	伊藤 梁 弘永 秀樹 大坪 清貴 小河 清貴 松浦 託 池田 宗一郎 渡邊 高徳 塩入 恵亮	●	◎	◎	◎	●
脳神経外科	脳血管障害, 神経外傷, 脊髄疾患, 脳腫瘍, てんかん 脳神経外科一般, 救急 脳血管障害 脳神経外科一般	平川 勝之 吉野 慎一郎 福嶋 浩 廣田 篤 長野 和久 中垣 英明 柴田 薫一 向井 達也	○	◎	●	●	◎
脳神経内科	脳神経内科一般 脳神経内科一般 脳神経内科一般	齊藤 太一 桑川 高史 入江 努 田中 哲也 中原 寛之 菅野 誠 矢部 恵士	○	○	○	○	○
整形外科	脊椎外科 股関節外科, 膝関節外科 脊椎外科 股関節外科, 膝関節外科, 脊椎外科 脊椎外科一般	前田 真奈美 山家 華代 小野 雄一 柳田 雄一郎	○	○	○	○	○
眼科	眼科一般 眼科一般						
救急科	救急医学, 集中治療医学 救急医学, 集中治療医学						
集中治療部	救急医学, 集中治療医学						

## 編集・発行

地方独立行政法人 福岡市立病院機構

## 福岡市民病院

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13番1号  
TEL 092-632-1111 FAX 092-632-0900  
http://www.fcho.jp/shininhp/

■受付時間: 平日8:30~11:00

■休診日: 土日祝日・年末年始 (12/29~1/3)

■急患は救急外来で24時間対応します。

地域医療連携室直通 (平日 8:30~17:00)

TEL: 092-632-3430 FAX: 092-632-3431

